

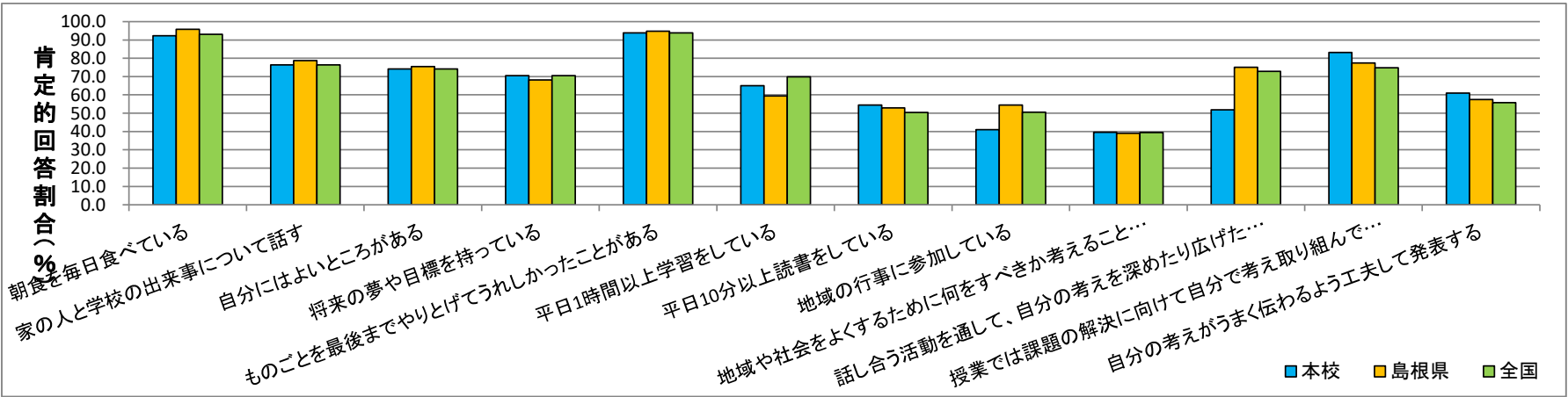
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策
国語	○10題のうち4題ある「書く」・「書き加える」設問は、島根県および全国を上回る正答率であり、無回答率も低かったことから、「書く」ことに対する抵抗感はありません、感じたことや考えたことを記述することができる傾向にあると思われる。 ○指導要領の領域と評価の観点については、「関心・意欲・態度」や「話すこと・聞くこと」に関する正答率が高く、意欲的に表現活動に取り組む傾向があるといえる。 ●「読むこと」に関連する設問に対する正答率がやや低いことから、文章の内容を的確に読みとる指導を行う必要がある。 ●問題形式が選択式の設問の正答率が低いので、一字一句に意識を向けて正誤の判断をすることが苦手であることがわかる。	・初めて読む文章(教材)の内容をできるだけ速く的確に読みとるために、授業では初読後の感想記入や要点整理等の課題を増やしたり、毎週1枚配布する家庭学習用課題プリントでは、漢字や文法に加えたりして内容理解の問題を増やしていく。 ・授業で使うワーク類や課題における選択問題では、答え合わせの際に正誤の確認をする作業だけで終わるのではなく、間違える原因となった部分(語句)をきちんと確認して見直す時間を確保する。
数学	○時間をかけて学習し記憶した事や基本の計算は、得意とする生徒が多い。 ○数学用語を使つての説明することには無解答がやや増えるが、どの問題に対しても何かを答えようとしていると思われる。 ●グラフや資料の読み取りとそれらを用いて説明することを苦手とし、資料の内容を理解をしていない。また、資料を上手く活用することに苦手意識を持っていることがわかる。 ●関数的な考えや証明など、自分の考えを論理的・数学的に表現する事を苦手としていることがわかる。	・家庭学習用課題プリントや基礎計算問題演習は継続していく。 ・数学用語や数式・グラフを用いて説明する課題を意図的に授業に盛り込み、取り組ませていく必要がある。 ・解答だけでなく、途中の自分の考え方も分かるようノートに書く指導をしていく。また、説明問題を意識的に課題等に出題する。
英語	○聞き取りの問題に対する正答率は概ね全国平均を越えているか全国平均相当であり、英語を聞いてその内容を把握する力はあるものと考えられる。 ○英文を読んでその内容を大まかに把握し、必要な情報を選択する力は全国平均を越えているものが多いか、全国平均に近い数値が出ているものが多く、英文を読んで概要を把握する力はあるものと考えられる。 ●「書くこと」に関連した問題に対する正答率がおおむね低いことから、「書くこと」に対する指導を重点的に行う必要を感じる。 ●与えられた情報を理解し、それに対する自分の考えをまとめ、英語で表現する力が不足していることがわかる。	・日常の授業の中で、自分の考えをまとめて英語で表現する活動を意図的に設定する。 ・英語で与えられた情報の中から必要な情報を選択し、それを使って自分の考えをまとめる活動を増やしていく。 ・英語の文を作る基本的なドリル活動を工夫し、英語の文を書くことに対する抵抗感を減らして、自分の考えを英語で表現する力の育成につなげる。

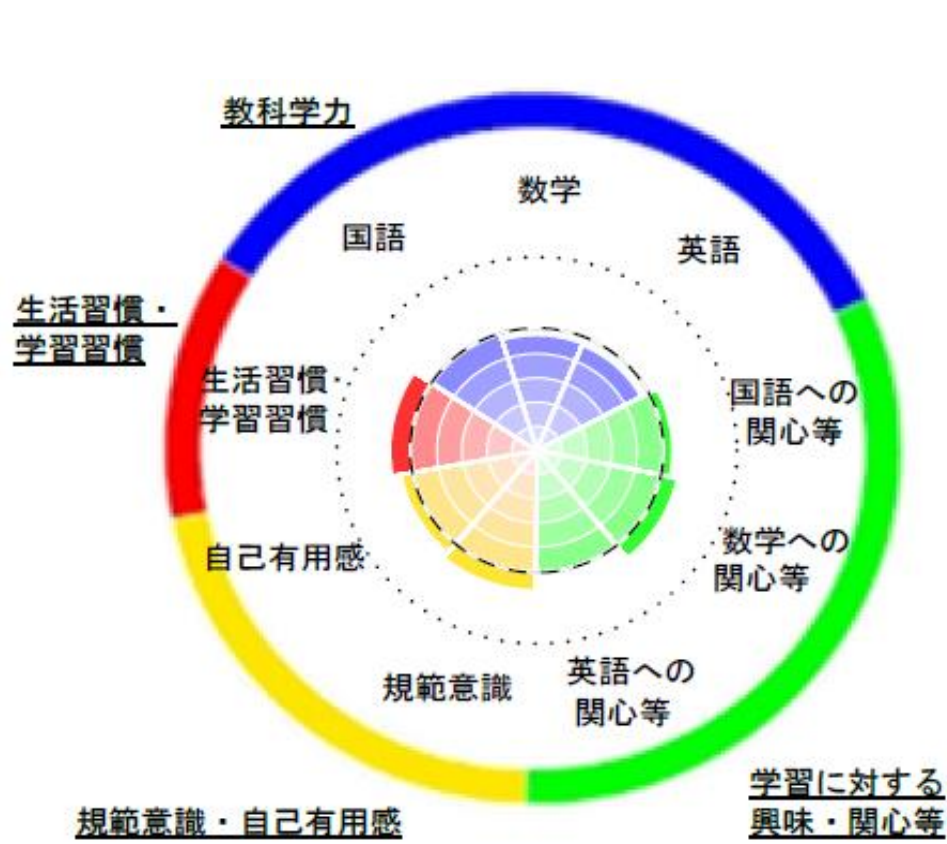
(2)生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策
○話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることが県や全国に比べてかなり低く生徒は苦手意識を強く感じているが、一方で、授業では自分の考えをまとめ、工夫をして人に伝えるよう努力している。 ○学校生活において、休憩時間等読書をする生徒が多い。また、自分の将来に向けて、家庭学習の時間が増えてきている。 ●新聞を読んだり、自分の地域の行事に参加したりする項目がの値が全国・県に比べて低い。読書量は多く活字に触れる機会が多いが、自分の身の周りや時事問題については興味を持ってない。 ●各教科の学習は大切で、将来役に立つと思っているが、学習態度は受動的である。	・図書館の新聞を活用したり、生徒が興味を持つような時事関連の掲示をしたりし、自分の周りのことに興味・関心を持たせるような企画をしていく。 ・授業において、この時間に「何を学習するのか」というねらいをはっきりさせた上で、グループ活動などを通し自らの考えを発表し、深めていくように授業設計をする。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・教科や単元によって、コンピュータなどのICT機器を効果的に活用した授業形態を増やしていく。
・「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣を、地域や家庭を巻き込み、学園で更に充実させていく。

【参考】

○平均正答率	本 校	松江市	島根県	全国
国語	73	73	73	72.8
数学	57	60	57	59.8
英語	53	54	53	56.0

受検者数 154 人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受験者数をもって表示しています。